

11月
24日

自死遺族向けセミナー

「天の会衆と共に — キリスト教の自死遺族支援の視点とスピリチュアルケア」

本年度の「愛知県地域自殺対策緊急強化基金」の事業として、下記のように遺族のフリースペース・遺族向けセミナーを行います。

日時：2013年11月24日（日）

10:30-12:00 **遺族のための「フリースペース」**

※午前の参加は自死遺族のみ限定です。

13:00-16:00 **遺族向けセミナー**

※午後はどなたでもご参加いただけます。

場所：愛知県産業労働センター「ウィンクあいち」

1003会議室（名古屋駅前）

セミナー講師：**伊藤高章**（いとう たかあき）氏

- 1956年東京生まれ
- 桃山学院大学社会福祉学科教員、
- 上智大学グリーンケア研究所客員所員
- 日本スピリチュアルケア学会理事（資格認定担当）
- アジア太平洋パストラルケア・カウンセリング学会会長
- 国際パストラルケア・カウンセリング学会副会長

講演概要

キリスト教は、ひとりひとりのたましいがその個性を保ちながら死後も永続すると考える宗教です。そして、この世に生きる者も、天に帰った者も、ともに神との交わりを持ち続ける存在と考えます。地上の教会は、亡くなった個人を忘れません。教会にとって11月は帰天した人々を覚える月です。キリスト教の自死遺族支援の視点を考えながら、現代社会の新しいケアの視点であるスピリチュアルケアについても言及します。

※今回はキリスト教を取り上げますが、リメンバー名古屋は、「特定の宗教とのみ強い関わりは持たない」との基本方針で運営しております。特定の宗教をお勧めしたりすることはありません。

10月
19日

～こころの居場所～AICHI自死遺族支援室 主催 セミナー・シンポジウムのお知らせ

愛知県の別の自死遺族の会である、「～こころの居場所～AICHI自死遺族支援室」さんの主催で、以下のように開催されます。

『深い悲しみをかかえて・・・』

～自死遺族にとっての心の平穏とは～

日時：2013年10月19日（日）13:30～16:10

場所：中部電力 東桜会館 第二会議室

地下鉄東山線「新栄町」駅

桜通線「高岳」駅よりそれぞれ徒歩5分

基調講演：13:30～14:40

高木 慶子 氏

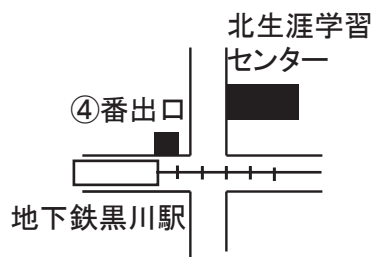
（上智大学グリーンケア研究所特任所長）

次回の遺族会

第60回

10月6日（日）13:15から
名古屋北生涯学習センター
地下鉄名城線「黒川」下車
（4番出口）よりすぐ

参加費：500円



その次は・・・

第61回 12月8日（日）。
場所は北生涯学習センターです。

日程は、ホームページまたは、電話案内でご確認いただけます。
パソコンの方

<http://will.obi.ne.jp/remember/>

携帯電話の方

<http://www.will.obi.ne.jp/m/>

電話案内（録音でのご案内）

090-8544-9408

シンポジウム：14:50～16:10

「こころの傷はひとりでは癒せない」

対象：

①自死遺族の方

②自死遺族支援に関わっておられる方

定員：60名※先着順・完全予約制

参加費：無料

ご予約・お問合せ：

メール：cocoroibasyo@yahoo.co.jp

FAX：0561-52-3150（FAX受信専用）

電話：090-4447-1840

※電話受付時間

水・木15:00～20:00

日18:00～20:00

第18回秋の遠足のお知らせ-10月27日(日)

恒例の秋の遠足を以下のように行います。いつも遺族会でお会いする皆さまと、ゆっくりと過ごしませんか。

つらいことは忘れて・・・ということではなく、参加者の方同士、少しでも親しくなり、遺族会以外でも支えあえる関係になればとの思いから行っています。

遺族会に参加したことのある方ならどなたでもご参加になれます。

■日時:2013年10月27日(日)

午前10:20から17時ぐらい

■行先:魚太郎(バーベキュー)

愛知県知多郡美浜町

*雨天時も実施します。

■集合場所:

名古屋駅(10:20)、または、名鉄知多半田(11:00)

現地へ直接行かれる方は、魚太郎(11:50)

※詳細はご参加の方にご連絡いたします。

■参加費:交通費(名鉄名古屋往復の場合:2,320円)、昼食(魚太郎浜焼きバーベキュー:3千円程度)
※食事内容、飲み物により変わります。

■申し込み先:リメンバー名古屋事務局
(メール・ファックス・郵便等でお申し込み)

お名前(ニックネーム可)、

ご連絡先(メール、電話、FAXなど。当日連絡できるものであれば助かります)、集合場所をお知らせください。

Eメール:remember_nagoya@yahoo.co.jp

FAX:020-4668-8925(電話ではありません)

郵便:〒460-0003 名古屋市中区錦2-18-5

MBE178 リメンバー名古屋

※郵送の方は、10月14日ぐらいまでに発送してください。

■申し込み期限:10月21日(月)まで

■キャンセルについて:

お申し込み後、キャンセルの方は25日(金)までにご連絡ください。



リメンバーin岡崎

1月19日

2010年より開催してきました「リメンバー名古屋in岡崎」を、今年度も2014年1月19日(日)に行うことになりました。

今回で4回目となる「リメンバー名古屋in岡崎」を、1月19日(日)に行うことになりました。場所は、これまでと同じく、岡崎市「岡崎げんき館」です。

岡崎の方が行きやすい方もおられると思います。よろしければ、お越しいただければと思います。

日時:2014年1月19日(日)

午後1時15分~午後4時(受付13時)

会場: 岡崎げんき館

愛知県岡崎市若宮町2丁目1-1

TEL:0564-21-7733

対象: 家族や恋人等大切な人を自死で亡くした人
参加費: 無料(地域自殺対策緊急強化基金助成により)

参加申込み:

事前申し込み不要

、当日自由参加



12月8日遺族会終了後「望年会」を行います

12月8日遺族会終了後17時ごろから、毎年恒例の食事会を行います。リメンバー(憶えている)ということ大切にしている場ですので、「忘」という字を避け「望」年会としています。

遺族会に参加したことのある方ならどなたでもご参加になれます。12月1日までに申し込みください。

次回「ディアレスト」のご案内

家族ではないけれども大切な人を自死で亡くされた方を対象に、2ヶ月に1回、遺族会「ディアレスト (Dearest)」が開催されています。

日時: 2013年11月16日(土) 13:30-16:00

場所: 名古屋市中村生涯学習センター

地下鉄東山線「本陣」駅4番出口より徒歩5分

対象: 家族以外の大切な人(恋人・婚約者・パートナー・親友・同僚・上司・部下・先輩・後輩・先生・生徒、など)を自死(自殺)で亡くされた方

参加費: 500円

連絡先: the.dearest1@gmail.com

http://dearest.heyajp

※事前にご連絡頂けると助かりますが、直接会場にお越し頂いても結構です。

※匿名でご参加頂いても構いません。

リメンバー名古屋10周年記念冊子

原稿募集

「自死遺族のあの日・自死遺族のその後(仮題)」

2003年12月に第一回の分かち合いを開いたリメンバー名古屋は、この12月で10年の節目を迎えます。そこで、これまで会に関わっていただいた皆様の思いを集めた、冊子制作を行うこととなりました。

応募要件

【一般の部】…家族・友人・恋人など、大切な方を自死で亡くされた、概ね70歳以上の方

【リメンバーメンバーの部】…リメンバー名古屋の遺族会に参加したことがある方（年齢制限なし）

規定

「あの日のこと」「あの日の思い」「その後のこと」「その後の思い」「あの人への思い」をテーマに文章をお寄せください。詩、短歌など、短いものも可。

※寄稿くださった全ての原稿を掲載することができませんことを、あらかじめご了承ください。

※掲載にあたり、内容、表現についてご相談させていただく場合があります。

応募期限

2013年11月末

その他

その他詳細につきましては、「リメンバー新聞62号」（ホームページでもご覧いただけます）をご覧ください。下記までお問い合わせください。

問い合わせ

メール：remember_nagoya@yahoo.co.jp

郵便：〒460-0003

名古屋市中区錦2-18-5 MBE178

リメンバー名古屋

※2011年3月発行
「自死遺族の手紙」



電話相談のご案内

自死遺族に限らない、幅広い窓口です。

○あいちこころほっとライン365

愛知県精神保健福祉センター

毎日 9:00～16:30 052-951-2881

○名古屋市こころの健康電話相談

名古屋市精神保健福祉センターこころば

月-金 12:45～16:45 052-483-2215

法的なことでお困りの場合は

自死遺族支援弁護士

全国自死遺族法律相談ホットライン

※全国の弁護士が直接対応

電話：050-3786-1980

毎週水曜日 12:00-15:00（祝日を除く）

Eメール：info@jishiizoku-law.org

ホームページ：http://www.jishiizoku-law.org

FAX：06-6949-8217

面接相談のご案内(無料)

○愛知県精神保健福祉センター

要予約 052-962-5377 毎月第3木曜日 午後2時-3時30分

○名古屋市精神保健福祉センターこころば

要予約 052-483-2095 毎月第3火曜日 午前10時-12時



日本司法支援センター「法テラス」

「法テラス」は国が設立した公的な法人です。

法テラス愛知

050-3383-5460

法テラス三河

050-3383-5465

※平日9:00-16:00

スタッフ募集

遺族会に参加したことがある方で、会の活動のお手伝いをいただける方募集しています。

遺族会当日に、お茶の買い出し、参加者の案内など、継続的でなくても結構です。

詳しくはお問い合わせください。

新聞郵送をご希望の方へ

1月～6月末までのお申し込み(前期)…1000円 もしくは 80円切手13枚

7月～12月末までのお申し込み(後期)…500円 もしくは 80円切手7枚

お申込みは、郵便番号・住所・氏名を記入の上ご送金いただくか、切手をご郵送ください。遺族会の当日、受付でお支払いいただいても結構です。

リメンバー文庫



リメンバー文庫では、遺族の方向けの書籍を集め、遺族会の時などに貸し出しを行っています。今回は、リメンバー文庫私設司書のおススメ本として『世界から猫が消えたなら』（川村元気/著）を紹介させていただきます。

「僕は生きるために、消すことを決めた。」

本書のあらすじは、とある地方都市で郵便配達員として働く30歳の「僕」が主人公です。猫と2人(?)暮らしの僕は、ある日突然、ガンのため余命わずかであることを宣告されます。絶望的な気分です。家に帰ってくると、「僕」と全く同じ姿をした陽気な悪魔が待っていました。その悪魔は、奇妙な取引を持ちかけてきました。「世界からあなたの大切な何かを1つ消すごとに、命を一日延ばしてあげましょう。」と。1日延命するためには、何かを失わなければならないようになった、僕。電話、映画、時計…。命と引き換えに、世界からモノが消えていきます。失われてみて、はじめて感じるそのモノの意味や価値。僕は何か失われていく世界の中で、亡き母が遺した愛猫と触れ合い、初恋の人と再会し、亡き母のこと、そして長い間、絶縁状態にある時計屋の父のことを想います。そして悪魔は「世界から猫を消してください。」と、告げるのです…。

本書は、映画プロデューサーとして『電車男』・『モテキ』などを制作した著者が、ライン初の連載小説として書いた、人生哲学エンターテイメントです。

私は、本書を読んで、そのポップな文体からは想像のつかない、ある意味、一番分りやすく、そして、本当の喪失を経験した人でないと永遠に

解らない哲学入門書ではないかと思いました。

大切なものが、空気のように普段意識しなければいけないほど、喪われた時の喪失感は大きく、なんだか、亡彼と私の関係をモノに置き換えたような本だと思われました。本書には、チャップリンがステッキを振り回しながら「死と同じように、避けられないものがある。それは生きることだ。」と、いうシーンがあります。私の大切な人は、そのすべてを全うしたのだ。そして、遺された私は、生きるのだ。と、思えるようになりました。これは、読後すぐには解りませんでした。今になって、やっと心で飲み込めた感覚のある一文でした。

こう思えるまでに、私は12年の歳月を経ました。今年の8月で、13回忌をむかえた私の大好きな彼。天国から、あるいは空・海から、今の私を見ていてくれるでしょうか。私は「ありがとう」の本当の意味を、亡彼から教えられたのです。

12月に私は「僕」のように、大切な亡き人へ、長い長い感謝の手紙を書こうと思います。天国のポストに届くように、想いを込めて。

(ソニア)

★★★★本の紹介★★★★

『世界から猫が消えたなら』
川村元気(著)
マガジンハウス、2012年
1470円

りめんぼー

魔法使いがやってきて、「あなたに、一度だけ人生の好きな時に戻る魔法をあげましょう」と言われたらー。

そんなことを考えたことはないでしょうか。

この新聞の読者の方なら、きっと「大切な人が亡くなる前」のことを考えるのだと思います。「あの時に戻れたなら……」と思うのも当然のことだと思います。

自分のことを考えた時、戻るべき所がまだ見つからずにいます。もちろん、死ぬ直前に戻って止めさせようと思ったことはあります。でも、もしそこで止めさせたとして、その後、ちゃんと生き続けられたかどうか、そしてその後幸せになれたかどうかと思うと、そこが戻るべきところかどうか決められないのです。もっと前に戻ってすべきことがあるのではないか、でも、それがどの時点なのか、戻って本当に何かできるのか、答えは見つからないでいます。

魔法使いは厳しい条件をつけ加えます。「記憶は持っていけないよ」。

その言葉に、戻ることへの不安がさらに大きくなります。その先に起こることをすべて知っているからこそ、戻った時何かができるのでしょうか。あの時と全く同じ自分が、全く同じ状況におかれたとして、果たして異なる結果を導き出せるのかどうか、自信はありません。

これは空想の話ではありますが、自分が戻るべき時を考えるのは、辛いことでもあります。後悔、自責があるからこそ、戻れるなら戻りたいと思い、その時点からやり直したいと願うのでしょうか。魔法使いは、そのことを突き付けてくるのです。その意味で、魔法使いは決してメルヘンの話ではなく、常に心の中にいて、厳しく自分を見つめている存在なのかもしれません。(KN)